



## ITUあれこれ ～日本人職員の知恵袋～

ITU日本人職員一同

### はじめに

ジュネーブのITUの会議に出席されてお困りになったことはありませんか。日本から会議に参加される方に役立つような情報をITUで働く日本人職員が皆で知恵を絞って集めてみました。既に御存じの情報もあるかとは思いますが、一覧できるマニュアル的なものを目指して、写真をなるべく豊富に取り入れて分かりやすく、使いやすい情報を提供することを心がけました。ジュネーブ出張のお供として少しでも皆様のお役に立てれば幸いです。

### 1. ITUの会議に参加するまで (出国前の準備など)

#### 1.1 レジストレーション (参加登録)

ITUが主催する会議には様々なものがあります。そのうち、ITU-R及びITU-Dの会議はフォーカルポイントと呼ばれる所属組織の連絡担当者を通じて参加登録をします。ITU-Tの会議は、その会議のウェブサイトにあるonline registration formにアクセスして自分で参加登録します。参加登録せず、いきなりITUに行っても、その場で参加登録は可能ですが、バッジの発行に時間がかかったり、フォーカルポイントへの連絡が必要になりますので、事前に参加登録しておくことをお勧めします。

なお、ITUはメンバーシップ制に基づいて運営されており、多くの会議は、メンバーとなっている団体の人しか参加できません。ただし、Focus Groupやワークショップなどは、オープンな運営をしており、メンバーでなくても参加できます。

#### 1.2 TIESアカウントの取得

ITUの会議で用いられる文書は、ほとんど全てITUのサイトから入手可能ですが、多くのドキュメントの入手にはTIESと呼ばれるITUで管理しているシステムのアカウントが必要です。また、連絡手段に用いられる各グループのメーリングリスト加入にもTIESアカウントが必要です。一部、Focus Groupの文書などはGuest Accountでも入手可能で、そのメーリングリストにはGuest Accountでも加入可能ですが、TIESアカウントに比べると利用できる範囲がかなり制限されます。TIESアカウントはメンバーとなっている団体の人であ

れば入手可能ですので、可能な限りTIESアカウントを入手することをお勧めします。ただし、TIESアカウントをオンラインで申し込んでも、その後、ITUから申込者の所属組織(会社など)に照会の連絡があり、そこで確認を取った後にアカウントが発行されますので、発行までに数日かかる場合があります。そのため、ITUの会議に参加することが決まったら、準備のために文書を入手する必要もあると思われますので、できるだけ早くTIESアカウントを入手することをお勧めします。なお、Guest Accountはオンラインで申込みと同時に入手できます。

TIESアカウントは「<http://www.itu.int/cgi-bin/htsh/tiesutils/reg/reg.screen1.html>」から、Guest Accountは「<https://www.itu.int/net/iwm/public/frmUserRegistration.aspx>」から申込みできます。

最近のITUの会議では文書のペーパーレス化が進んでおり、印刷された文書を配布しない会議がかなり増えていますので、PCなど、オンラインの文書を読む手段は必須です。

#### 1.3 ITUのサイトから関連情報を入手

ITUのサイトには会議に関するものの他、出張者がジュネーブで過ごすために役立つと思われる生活情報もたくさん掲載されています。例えば、「<http://www.itu.int/en/ITU-T/info/Pages/resources.aspx>」「<http://www.itu.int/en/ITU-R/information/events/Pages/itugeneva.aspx>」などからたどれます。

#### 1.4 会議関連文書のダウンロード

ほとんどのITUの会議は文書によって会議が進められるため、事前に入手し、目を通しておくことは重要です。会場でもダウンロードできますが、ネットワークが込み合ってダウンロードに時間がかかったり、PCの調子によってはダウンロードできないことも起こり得ます。また、初めて見た英文の文書やそれに関連する発言に対し、即応することが難しい場合もあります。ITUのウェブサイトから大量の文書をダウンロードするのは手間がかかりますが、FTPサイト(ifa.itu.int、TIESアカウントによりログイン)からまとめてダウンロードする方法もあります。



### 1.5 ホテルの予約

御自分が所属する組織にITUの会議によく参加している人がいれば、まずは、その方にホテルはどのようにして予約しているのかを確認するとよいです。手配方法は組織により様々です。例えば、社内の取りまとめの人が全社分まとめて確保する、出張者個人が会社指定の代理店に依頼する、代理店の選択を含め完全に個人で手配する（この場合は予約サイトの利用も考えられます）などです。

ITUと契約しているホテルは、会議参加者向けに割引料金を提供していますので、これも確認するとよいです。

関連情報は、「<http://www.itu.int/net4/travel/index.aspx>」にあります。

ジュネーブは観光シーズンと無関係に、大規模なイベントがある時期にはホテルの予約が非常に困難になります。また、料金もかなり高くなります。Telecom Worldと呼ばれるITU主催のワークショップ及び展示会を中心とするイベントの開催期間中は料金が通常の3倍になったケースもありました。その他、代表的なイベントとしては、高級時計の展示会で大体1月に開催されるSIHH、3月の自動車ショーなどがあります。WHOなど他の国際機関が大規模な会議を開催する時期も要注意です。そのため、キャンセル料金がかからない範囲であれば、会議参加の可能性がある場合には、出張許可が出ていなくても分かった段階で早めに予約を入れておくとうよいです。半年前に予約を入れておくことも決して珍しくありません。これはフライトの予約にも同じことが言えます。適当なホテルを選んでサイトにアクセスして、料金を調べてみると、状況がある程度想像できます。

ホテルは、料金、ホテルでのネット環境、ITUへのアクセスや一緒に会議に出ている人たちとの行動のしやすさ、食事、買い物などの利便性を考慮して決めるとよいでしょう。出張者がよく利用していると思われるホテルは、Hotel les Nationsのほか、Auteuil、Jade、Kipling、Royalなどのローザンヌ通り沿い（トラム通り沿い）のホテル、Montbrillantなどの駅前ホテルなどです。以前、多くの出張者に使われていたGrand Préは改装が終わり、ibis Genève Centre Nationsとして2013年3月にオープンしました。

### 1.6 電源アダプターなどの準備

スイスの一般の電源コンセントは230V、50Hzです。コンセントの形状はタイプJと呼ばれる3本ピンのもので、タイプCと呼ばれる、2本ピンのいわゆるユーロプラグも差し込むことができます。日本からPCを持ち込む場合、ほとんどの

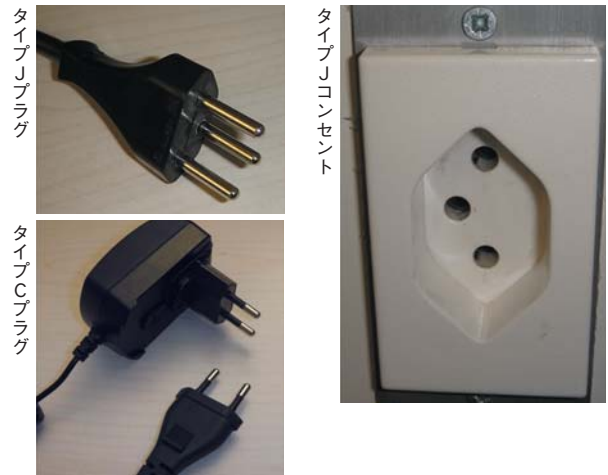


Photo 1-1. タイプJのプラグとコンセント及びタイプCのプラグ

電源アダプターは100-240Vの範囲で使用できるようになっているため、変圧器は必要なく、プラグアダプタのみで利用できるケースがほとんどだと思われます。プラグアダプタは、2本ピンのタイプCを用います。

### 1.7 お金の準備

スイスはユーロ圏に囲まれているが、スイスの通貨はスイスフランです（CHFあるいはSFRなどと表示される場合が多いが、単に数字のみで表示される場合もあります）。日本円からスイスフランへの両替は空港や街中にある銀行や両替屋などで問題なくできます。国際キャッシュカードやクレジットカードを利用して街中にあるATMからスイスフランを入手することもできます。クレジットカードはホテルのほか、レストラン、スーパーマーケットなど、広く利用できます。

ジュネーブはフランスとの国境に近く、フランス側のレストランに行ったり、買い物に行かれる方も多くいます。フランスでは通貨はユーロなので、その場合は、ユーロも用意しておくとう便利です。スイス側の銀行などではユーロも扱っています。フランス側に行ってから、ATMからユーロを入手することも可能です。フランス側でスイスフランを受け取る店やスイス側でユーロを受け取る店もかなりありますが、レートはやや不利になります。

なお、スイスやフランスはじめ、ヨーロッパでは、レストランやタクシーのチップは必須ではありません。レストランでは、お釣りの端数程度をチップとしておくケースが多いです。この点は米国とは全く異なります。米国をはじめとして高額紙幣の使用が難しい場合（お釣りがないので受取を拒否されるなど）がありますが、ジュネーブではスーパーマーケットなどでも200フラン札までの高額紙幣も比較的問題なく使用で



きます。ただし1000フラン札は避けたほうが無難です。

## 1.8 服装

一年を通じて、ジュネーブの気温は東京より少し低めです。会議では、ほぼ全員スーツにネクタイ（男性の場合）のフォーマルなもの他、カジュアルな服装の人が多い会議もあります。以前から出席している人に聞いておくとよいのですが、分からない場合は、スーツにネクタイで参加するのが無難です。

## 1.9 携帯電話

普段使っている携帯電話を持ち込んで国際ローミングで使う方法が多いかと思われそうですが、その他、出張期間中だけレンタルしたり、スイスでプリペイドの携帯電話かSIMカード（この場合は、適合する電話機が必要）を購入する方法もあります。

## 2. ジュネーブ空港に到着したら

### 2.1 空港からの移動手段

ジュネーブ空港 (<http://www.gva.ch/en/desktopdefault.aspx>) とジュネーブ中心部は4kmほどの距離で、ITUはその途中にあります。バス又はタクシーで空港からITUまでは15-20分ほどの道のりです。

ジュネーブのバスマップはTransport Public Genève (TPG) のウェブサイト (<http://www.tpg.ch/plans/reseau-urbain>) で事前に確認することができます（2013年2月現在、英語版は準備中となっています）。また、空港のArrivalゲートを出てすぐのVisitor's Centerでも情報収集ができます。

空港からバスを使う場合、80分乗り降りができる無料チケットを空港で発券することができます。発券機は機内預け荷物受取場からArrivalゲートに向かう途中にあります。このチケットはジュネーブ空港に飛行機で到着した人が対象のため、その証明のために航空チケットの半券も同時に所持している必要があります。

各バス停は、Check-inカウンターのあるフロアと同じレベルの外にあります。5番のバスに乗ると、ITUのMontbrillantビル（レジストレーションカウンターのある建物）のそばにあるNations停留所まで15分程度、また、スイス国鉄[SBB：（ドイツ語）/CFE：（フランス語）/FFS：（イタリア語）、<http://www.sbb.ch/en/home.html>] のジュネーブ中央駅であるコルナバン（Gare Cornavin）までは25分程度で着きます（ただし、中央駅周辺は時間によって交通渋滞が

起こるため、この限りではありません）。

また、この中央駅までは空港からスイス国鉄を利用して6分ほどで行くことも可能です。ジュネーブ空港のサイト (<http://www.gva.ch/en/DesktopDefault.aspx/tabid-67/>) に空港からの移動手段について詳しく説明されています。

### 2.2 ジュネーブ市内移動手段

ジュネーブ市内のホテルに宿泊する場合、チェックイン時にホテルより宿泊期間中のジュネーブ市内バス無料チケットをもらうことができます (<http://www.geneve-tourisme>.)



Photo 2-1. Arrivalゲートを出てすぐのVisitor's Center

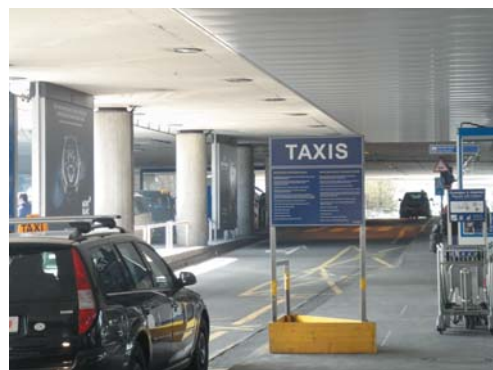


Photo 2-2. Arrivalフロアから外に出るとあるタクシー乗り場



Photo 2-3. Check-inフロアから外に出た所にある5番バス乗り場（奥に見えるのが空港の建物）



ch/en/useful-information/how-to-get-around/geneva-transport-card/)。ただし、フランス側に宿泊する場合は対象外です。また通常のバスチケットは各バス停前にある券売機で購入でき、ジュネーブ市内60分間乗り降り自由のチケットで3.5スイスフラン、一日券だと10.6フラン（2013年2月現在）です。券売機は従来から使われているタイプと新しいタイプの2種類が混在しており、従来版はお釣りが出ません。有効なチケットを所有していればバスは乗り降り自由です。チケットは時々バスに乗り込んでくるチケットコントロール係に見せることになりますが、その際、有効なチケットを所持していないと罰金を支払わなければならないため、気をつけてください。

また、ジュネーブは寒冷地のため、バス停に到着しても扉が開かない場合があります。乗車時にバスの扉が開かない場合は、扉横にある赤いボタンを押してください。同様に降車時は、一つ前のバス停を発車した後に付近の赤いボタンを押



Photo 2-4. バス券売機（新型）



Photo 2-5. バス券売機（従来版）

して降りる意思を示し、バス停に到着後、扉付近のポールにある赤いボタンを押してください。

### 3. ITUの建物のしくみ

#### 3.1 ITUとジュネーブの主要な建物

ジュネーブはレマン湖（Lac Léman）とそれに続くローヌ川（Rhône）をはさんで右岸・左岸に分かれます。このうち、「ジュネーブ・コアントラン国際空港（Aéroport International de Genève、最寄りバス停：Aéroport、仏語発音：アエロポー）」「コルナバン駅（Gare de Genève-Cornavin、最寄りバス停：Gare Cornavin、仏語発音：ガー・コーナバン）」「国際連合ジュネーブ事務局（または国際連合欧州本部、最寄りバス停：Nations、仏語発音：ナシオン）」「ITU（UIT、最寄りバス停：UIT、仏語発音：ウ・イ・テ）」は全て左岸に集中しています。ローヌ川を越える橋は本数が限られており、朝夕の通勤時間帯には渋滞するため、ホテルを予約する場合には注意が必要です。

これらのうち、国連欧州本部とコルナバン駅は多数のバス路線が通るため、その位置を理解しておくとういと思います。なお、空港からITUへは5番バスでNationsバス停で下車、駅からは8番バスでUIT又はNationsバス停、若しくは5番バスでVarembé又はNationsバス停で下車してください。

#### 3.2 ITUの建物の構造

ITUの建物は国連欧州本部から近い順に「モンブリアン（Montbrillant）」「バロンベ（Varembé）」「タワー（Tower）」

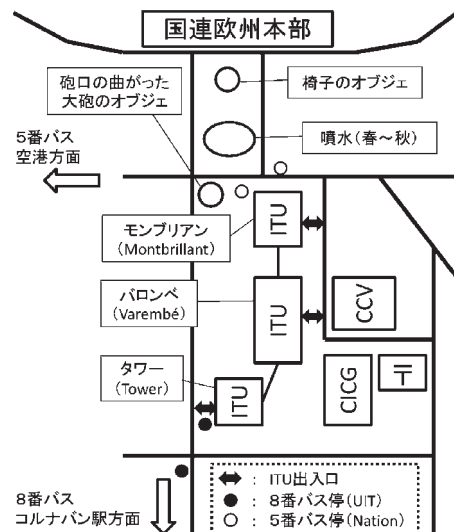


Fig.1. ITU付近略地図



Photo 3-1. 国連欧州本部

の三つに分かれています。タワーには事務総局長をはじめ事務総局の職員と開発局の職員が勤務しています。バロンベは無線通信局、モンブリアンは標準化局の職員が中心です。建物の出入り口は、各建物の0階（日本の1階相当）にあります。このうちモンブリアンとバロンベ出入口はバロンベ通り（最寄りバス停はNations）、タワー出入口はジュセッペ・モッタ通り（最寄りバス停：UIT）側にあります。このうち、バロンベ出入口は無人・カードリーダー式のため会議参加バッジ取得後のみ利用可能であり、夜間休日はタワー出入口のみ開いております。なお、会議参加バッジの取得前でも、訪問先の職員名を告げ、パスポートを預けることで一時入館バッジを得てITUに入館することもできます。

各建物は、「モンブリアン1階（日本の2階相当）とバロンベ0階（日本の1階に相当。地上階）」「バロンベ（マイナス）1階（日本の地下1階に相当）とタワー（マイナス）1階（日本の地下1階に相当）」がつながっており、外に出ることなく建物間を移動することが可能です。

### 3.3 ITU内の会議室

ITU内の会議場は、三つの建物の地下2階から地上4階



Photo 3-2. ITUモンブリアン（左）とバロンベ（右）ビル

（日本の5階に相当）まで各所に分散配置されています。このうちタワー地下2階のA、Popov（IHB会議室）、C会議室、モンブリアン1階（日本の2階に相当）のH、K、L、M会議室、バロンベ1階のE会議室、3階のG会議室が国際会議ではよく使われます。一般的に、会議参加バッジの受取時にITU館内案内図が配布されますが、出入口の守衛に言うこともできます。また、ITUホームページからダウンロードすることも可能です（<http://www.itu.int/ITU-T/info/files/itu-plan.pdf>）。トイレは各フロアにあります。会議室H、K、L、M会議室があるモンブリアン1階に限り、上下のフロアに移動する必要があります。



Photo 3-3. ITUタワービル



Photo 3-4. ITUタワー地下2階の会議室のあるフロア

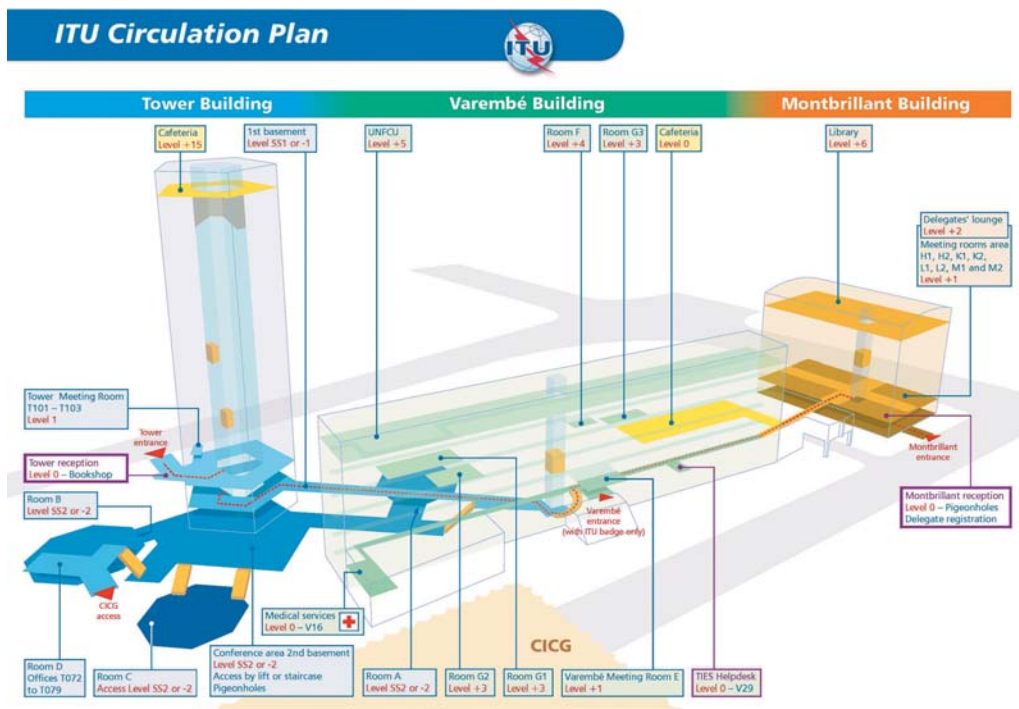


Fig. 2. ITU内案内図

### 3.4 ITU外の会議室 (CICG、CCV)

会議が重なったり、規模が大きかったりする場合には、ITUに隣接するCICG (Centre International de Conférences Genève)、CCVの会議場を使用することがあります。これらの会議場は、バロンベ出入口からのアクセスが容易で、バロンベ出入口から見て右側の建物がCICG、左側の建物がCCVです。また、会議の規模が極めて大きい場合にはILO (仏語略称: BIT) の会議室を使用することがあり、この場合はUITバス停から8番バスでILO (最寄りバス停: BIT) に移動する必要があります。

### 3.5 ITU内の食堂

ITU内にはタワー15階 (日本の16階に相当) とモンブリア

ン0階 (日本の1階に相当、地上階) の2箇所のカフェテリアがあり、タワー・カフェテリアが朝食から昼食、モンブリアン・カフェテリアが朝食から夕食までを提供しています。

食事はセルフサービスの事後会計式で、「ホットミール (一皿にメイン1品+副食2品)」「各種パン、サンドイッチ」「量り売りのサラダバー」「デザート」「ソフトドリンク、コーヒー (エスプレッソマシン)」「ワイン (!)」等があります (ただし、タワーカフェテリアのエスプレッソマシンのみ、先に会計で専用コインを買い、そのコインを機械に投入する事前会計式)。価格は、ホットミールがメインの種類に応じて10~16フラン程度、サンドイッチが5~7フラン程度、コーヒーが2.1フランで、サラダバーについては会計時にはかりに載せ、重さに応じて料金を支払います。両カフェテリアのメニュー



Photo 3-5. バロンベ出入口から見たCICG (右) とCCV (左)



Photo 3-6. ITUタワー・カフェテリア



Photo 3-7. モンブリアン・カフェテリア



Photo 3-8. レジ脇のはかり（サラダ等の皿ごと載せて重さを量る）

はほぼ同じですので、レマン湖を含めたジュネーブ全域を一望できるタワー・カフェテリアか、屋外のオープンカフェスペースがあるモンブリアン・カフェテリアか、各自の好みでお選びいただければと思います。

### 3.6 ITU内でコーヒーが買える所

長時間の会議に欠かせないコーヒーは、2箇所あるカフェテリア（エスプレッソマシン）で買うことができます。このうちタワー・カフェテリアに限り、事前に専用コインを買っておくことで、営業時間外でもエスプレッソマシンでコーヒーを入れることができます。

カフェテリアが営業時間外の場合等には、パロンベ地下1階、タワー地下2階、モンブリアン0階にあるコーヒーの自動販売機で購入することもできます（1フラン）。これら自動販売機はおつりが出ますが、スイスフランのコインのみ使用可能ですので御注意ください。また、タワーの地下2階には清涼飲料水・お茶・お菓子の自動販売機もあります。



Photo 3-9. タワー地下2階の自動販売機



Photo 3-10. タワー・カフェテリアのコーヒーマシン（左右に事前購入した専用コイン投入口）

## 4. ITUの建物に到着～会議に出席

### 4.1 まずはレジストレーションカウンターでバッジを入手

ITUへの入館には入館バッジが必要です。会議初日は少し早めにお越しになり出席者登録を行い、入館バッジの発行を受けてください。レジストレーションカウンターはPlace des Nationsから程近いITU Montbrillant（モンブリアン）ビルに入ってすぐの所にあります。

入館バッジを受け取ったら、それをゲートにかざし入館してください。



Photo 4-1. ITU Montbrillant（モンブリアン）ビル

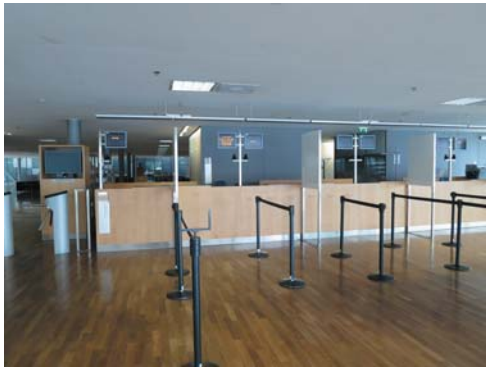


Photo 4-2. レジストレーションカウンター

#### 4.2 自分が出席する会議室を探す

ホームページよりFig.3のように出席参加予定の会議と、その会議場を見つけます。

またITU建物内のそこここに当日開催予定会議の場所、時間案内が表示されていますので、そちらをご参照ください。

目的の会議場 (Fig.3の例ではTowerビルディングのA会議場) への行き方はITU建物見取図「<http://www.itu.int/aboutitu/itu-plan.pdf>」を御参照ください。



Photo 4-3. 当日開催予定会議の場所、時間案内

#### 4.3 ITU内のIT環境

##### (1) 無線LAN

無線LAN (ITUwifi) が御使用になれます。パスコードは会議を担当するスタッフ若しくはITサービスデスク (Verambé (バランベ) ビル1階) にお問い合わせください。

##### (2) コピー機、プリンター

会議場近辺に用意されています。コピー機は御自由に御使用いただけます。持ち込みのPCへの目的のプリンターの設



Photo 4-4. コピー機、プリンター



Photo 4-5. プリンターの設定情報

Events Overview

YOU ARE HERE: HOME > ITU MEETINGS AND CONFERENCES

What's On Today

Calendar of Events

ITU brings people together through the Internet.

Geneva Daily Schedule

Date: 2/14/2013

Sector: All Sectors

Sector	Meeting	Building	Room	Start	End	Agenda
SG	Conference on Stress Management	Tower	A	11:00	12:30	

Fig.3. 参加予定の会議室の探し方





定は、ステッカーに表示の情報に従って行ってください。また最下段のメールアドレスは“eprint”というサービスです。印刷を御希望のファイルをメールに添付し、このアドレス宛てに送るだけでプリントされます。

#### 4.4 会議中の食事や買い物

食事については、ITU内のカフェテリアのほか、近隣の国際機関（UN、UNHCR、WIPOなど）のカフェテリアにもITUの入館バッジを提示し入ることができます。日用品の買い物には、COOPがお隣りUNHCR（国連高等弁務官事務所）の裏手、ITU Montbrillant（モンブリアン）ビルより徒

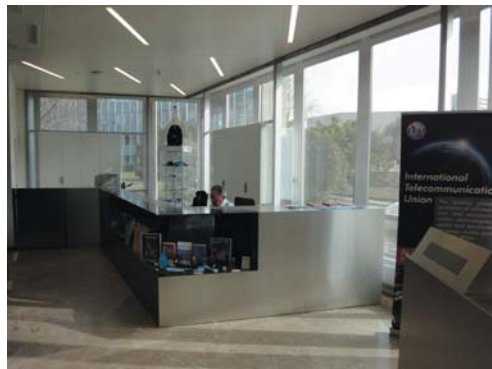


Photo 4-9. ITUタワー入口を入ってすぐの出版物記念品販売コーナー



Photo 4-6. UNHCR外観



Photo 4-7. UNHCR裏手のCOOP



Photo 4-8. UNHCR横のガソリンスタンド付随のmigrolino



Photo 4-10. 国連欧州本部内のBookshop（ポート40）



Photo 4-11. S.A.F.I., (ポート1)

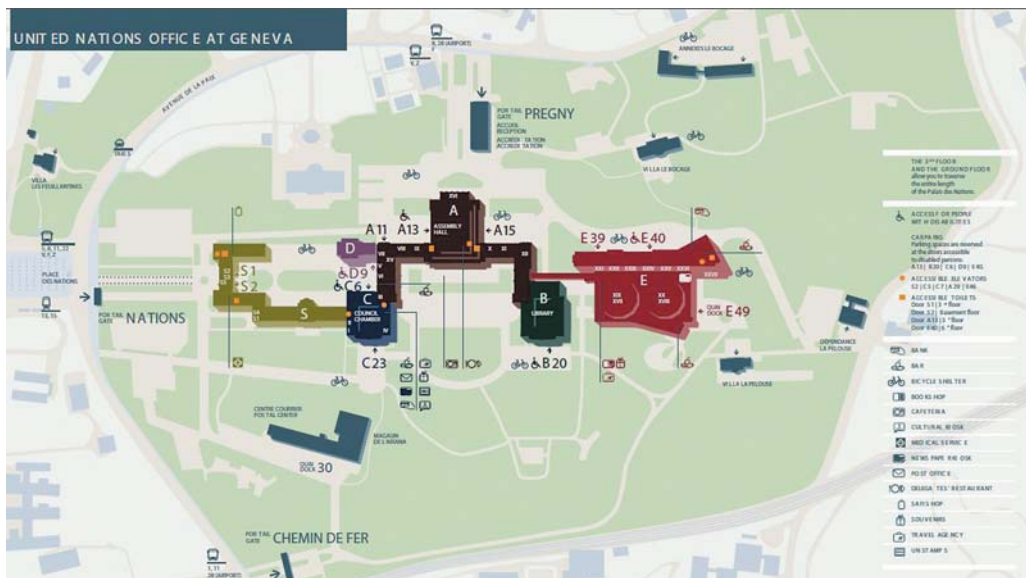


Photo 4-12. 国連欧州本部マップ

歩約5分の所にあります。会議は日曜にあることもあります。日曜の昼は、ITUの近くにあるプール (Piscine de Varembé, Avenue Giuseppe-Motta 46) のカフェテリアで昼食が取れる以外は近くには開いているレストランもなく、COOPでサンドイッチを買うこともできません。コルナバン駅前などでサンドイッチを買うなどして昼食を事前に用意されることをお勧めします。最悪の場合、ITU内にある自動販売機 (Montbrillantビル0階) やUNHCRの横にあるガソリンスタンドに付随しているmigrolino (67 rue de Monbrillant) でスナックを買うことができます。

#### 4.5 その他

Towerビルの1階にITUの出版物や記念品 (お土産として使えます) を販売するコーナーがあります。この他、土産は国連欧州本部内のポート40にあるBookshopで国連グッズ

を、少し一般的なスイスものはポート1にある売店SAFI (月曜～金曜、12時～18時半) で購入することができます。

## 5. その他

### 5.1 具合が悪くなったら

ジュネーブは全体的に日本と比べて乾燥しており、夏は、日本よりも早い6月末の夏至の頃から7月にかけてとても蒸し暑くなることもあるものの、その期間は日本と比べて短く、時には、夏であっても日陰に入ると肌寒く感じ、特に朝晩は長袖や上着が必要になることもあります。また一方で、冬は気温が低く、時には大雪が降ることもあります。したがって、時期によっては日本とジュネーブでかなり気温差があることがあり、日本からの出張者の方の中には気候の違いで体調を崩したりする方もおられます。



Photo 5-1. 薬局：Pharmacie



Photo 5-2. Medical Service

ジュネーブ出張中に体調を崩して、薬や受診が必要な場合、以下のような方法があります。

### (1) 薬局 (Pharmacie)

薬を購入したい場合には、日本同様、薬局で薬を購入することができます (もちろん、日本と同じ薬は手に入りません)。ITUから最寄りの薬局は、以下のとおりで、平日は8:00-18:45、土曜日は8:00-17:00に開いています (2013年2月現在)。

**Pharmacie Populaire Varembe**  
Rue de Montbrillant 88  
1202 Genève (GE)

また、上記以外にも、街中やショッピングセンターの中などでPharmacieや緑の十字マークのサインを目印に薬局を見つけることができます。

### (2) ITU内のMedical Service

当日の会議で病院に行く時間がない場合などは、ITUのVarembeビルの地上階 (0階)、一番ITU Tower寄りの部屋 (V16) にMedical Serviceがあります。開業時間は、平日の8:45-12:30、14:00-17:00です。

ただし、看護婦が常駐しているだけなので、当座をしのぐためのその場で飲む市販の薬を数錠もらうことはできますが、医師が常駐していないため、処方箋など、薬を処方してもらうことはできません。

### (3) 救急病院

ジュネーブは、ホームドクター制のため、通常、開業医は自分担当の患者しか診てくれませんし、予約が当日取れることもまれです。したがって、出張中にジュネーブで病院に行

く場合、救急病院に行くことになります。ジュネーブ市内には、以下のような24時間対応の病院があり、受付順で受診が可能です。ただし、かなり長時間待たされます (病院を出るまでに6時間近くかかることもあります)。

**Hôpital Cantonal**  
Rue Gabrielle-Perret-Gentil 4  
1211 Geneva 14  
Tel. : 022 372 33 11 / 022 382 33 11

**Hôpital de la Tour**  
Av. Jean-Daniel Maillard, 3  
1217 Meyrin  
Tel. : 022 719 61 11

**Geneva Emergency Services (救急車を呼びたい時)**  
Tel. : 144

その他、24時間開いているわけではありませんが、受付順で受診可能な病院もあります (昼間の時間であれば、こちらの方が早く診てもらえると思います)。

**Centre Médical des Grangettes SA (Urgence)**  
chemin des Grangettes 7, 1224 Chêne-Bougeries  
Tel. : +41 22 305 0111  
<http://www.grangettes.ch/Emergencies.html>

ITU内の会議室は空調が完備しており、夏はクーラー、冬はヒーターが入るため、問題ないと思いますが、会議出席中は体調管理も重要ですので、買物や観光などで近隣に足を延ばされる際には、天気予報で十分に気温を確認してから



Tab. 1. 遅くまで営業しているスーパー

	住所	電話番号	営業時間
Migros M Genève - Cointrin Aéroport (空港内のMigros)	Route de l'Aéroport 25 1215 Genève (GE)	—	毎日8:00-21:00
Carrefour Market FERNEY Voltaire (フランス領のカルフル)	33 AVENUE VOLTAIRE 01210 FERNEY Voltaire	04 50 40 61 23	月～土：8:30- 19:30 日：9:00-12:30
Carrefour Ferney Voltaire (フランス領のカルフル)	CC La Poterie - 6 Chemin Brunette 01210 FERNEY VOLTAIRE	04 50 40 85 26	月～土：8:30- 21:00 日曜休み

お出かけください（ジュネーブからバスで1時間半ほどの、Mont Blancを眺められるChamonix（フランス）のAiguille du midi展望台（標高3,842m）は、真夏であってもとても寒いです）。

## 5.2 注意すべきこと（日本との違い）

### (1) 治安

ジュネーブの治安は、日本と比べるとかなり悪く、ここ数年更に悪化傾向にあります。外出中はすりやひったくり、偽警官などには常に十分に注意して、持ち物からは目を離さない、大金は持ち歩かないよう御注意ください。なお、万が一被害に遭ってしまった場合、警察の電話番号は117です。

治安状況については、在ジュネーブ出張駐在官事務所のホームページなどにも注意喚起されていますので、御参照ください。

### Consulat du Japon à Genève

82, rue de Lausanne - 1202 Genève, Suisse

Tel : +41- (0) 22-716-99-00

Fax : +41- (0) 22-716-99-01

[http://www.geneve.ch.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.geneve.ch.emb-japan.go.jp/index_j.htm)

（業務時間：平日09：00-12：00、14：00-17：00

（日本の祝日も休館になることがあります）

### (2) 物価

ジュネーブは物価が高いです。レストランで毎日食事をしていると、ランチでも20CHF以上することも珍しくなく、負担に感じられる方も多いかもかもしれません。マクドナルドなどのファーストフード店ですら日本の何倍もの値段となります

ので、食費などを節約したければ、日本からカップラーメンなどを持参するのも一案です。

### (3) お店の営業時間

ジュネーブでは、日本と異なり、遅くまで開いているお店はほとんどありません。平日でも、コルナバン駅の売店やTabaccoショップなどのコンビニ的なところを除き、18：00～19：30には閉店しますし、日曜・祝日はほぼ全てのお店が閉まり、買い物をすることはできません（木曜日は遅い時間（21時頃）まで営業しているところもあります）。

比較的遅くまで開いているスーパーは、Tab.1の通りです。

### (4) 夏時間

3月末の日曜から10月末の日曜までは夏時間のため、その期間中に出張し、電車やバスなどで移動する場合には、時計をずらすのを忘れないよう注意してください。

## 6. おわりに

初めての試みのため、いろいろと至らぬ点が多かったかと思えます。こんな分野も書いてほしかったということなどありましたら、御指摘ください。海外出張ではどんなに準備していても不測の事態は生じるものです。そういうときは、ITUの我々のオフィスをお訪ねいただけたらと思います。各職員の専門は標準関係：太田、水野、無線関係：坂本、小泉、開発関係：杉本、コンピュータ関係：福室です。

ITUでの皆様の会議が成功し、充実した海外出張となることを祈念致します。